

Voice 声

### 治療やめた夫 満足だったか

主婦 梅田 真由美

(兵庫県 50)

夫が9月に皮膚がんで亡くなりました。告知を受けて1年2

カ月、52歳でした。去年7月に入院し、手術。しかし治らず今

年2月に4回目の入院。何度目かの手術をして退院後、「治療

も検査もやめる」と言い、がんをほっぽ放置してしまいました。

夫は医者も薬も嫌いでした。薬をもらってもものまない。痛い

こと、しんどいことが嫌。薬な方へと流されがちで、治療が苦

痛だったのかも知れません。最近、「医者を信じるな」「がんは放置してもいい」などと書いた本が幾つも出ており、夫婦

で読みました。夫はそれらに影響され、治療を受けるのを放棄したのだと思います。

医者に頼らず日頃から自分の健康管理に努める、という趣旨もあり、それには賛同します。

しかし、がん一つにしても様々な種類や性質のものがあり、個人差もあります。一概に放置でいいのだろうか、夫のがんを見ていて疑問に思いました。

元々、医者や薬の嫌いな人がそうした本を読み、「やっぱり何もしなくていいんだ」とならないでしょうか。夫は治療を求めた私の意見を受けつけず逝きました。それで夫は満足だったのか。私は考え込んでいます。